

2025年2月1日

各位

日本手術看護学会近畿地区  
大会長 佐々木



## 趣 意 書

謹啓

向春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日本手術看護学会近畿地区では、医療の進歩や社会のニーズに応えることのできる手術看護を提供する為に、手術室看護師一人ひとりの看護実践能力の向上に微力ながら支援しているところでございます。

その為、私たちは研修活動の一環として、「第12回日本手術看護学会近畿地区大会」を企画いたしました。

つきましては、ご多忙のところ恐縮に存じますが、ご協力をお願いいたしたく、何卒宜しくお願い致します。

謹白

記

名 称 : 第12回日本手術看護学会近畿地区大会

日 時 : 2025年7月5日(土) ~ 8月18日(月)

場 所 : Web開催 (オンデマンド配信)

対 象 : 日本手術看護学会会員、周術期看護・医療に携わる看護師、その他医療従事者  
教育・研究に携わる者、その他(学生)

講演内容: 招待講演、教育講演、シンポジウム、トピックス、看護研究・看護実践報告、  
認定看護師企画、共催セミナーなど

目 的 : 日本手術看護学会の目的に則り、手術医療・看護を取り巻く社会情勢の理解を深める場  
とするとともに、教育・研修の場、研究発表、情報共有の場とする。また、近畿地区学会の運営、  
意思決定に学会員が参加する機会とする。

テーマ : “手術看護の可能性が広がるパラダイムシフト”  
— 支える・つなぐ・つなげる力で手術看護のさらなる発展を—

ねらい :

近年の医療現場は、目まぐるしい変化の中、これまでの価値観や概念が大きく変わるパラダイムシフトの渦中にあると言えます。2019年度末からの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大に伴い、様々な社会の現状と問題・課題が明らかとなり、医療現場における効率性や生産性についても再検討を余儀なくされることとなりました。

そのような厳しい社会情勢の中、私たち手術室看護師には「支える・つなぐ・つなげる力」で、多職種連携・チーム医療の要としての役割が大きく期待されていると考えます。そのために、私たちは現代を取り巻くパラダイムシフトをチャンスと捉え、目まぐるしい変化や進化に柔軟に対応し、手術看護の可能性を広げる視点を持つ必要があると言えます。

これからの手術看護は、今までの当たり前にこだわりすぎず、新たな価値観や概念を醸成し、パラダイムシフトに上手く適応することで、手術看護の更なる発展につながると考えます。